

「アスパラガス新規就農者研修」始まる

【平成 29 年 6 月 6 日 掲載】

福山市の新市アスパラガス生産出荷組合（組合長：藤本正悟（ふじもとしょうご）、組合員 36 名）は、産地を支える担い手を育成するため、アスパラガス担い手育成協議会（構成組織：同組合、福山市、JA 及び東部農業技術指導所）を昨年 11 月に設立し、本年 4 月から新規就農希望者 2 名への研修を開始しました。

第 1 期生として平岡利奈（ひらおかりな）さん、三藤健史（みとうたけし）さんが、組合の先進農家で効率的な作業方法や手順等を 2 年間かけて習得します。

5 月 18 日には、定植作業の研修が行われ、先進農家及び指導所職員が、畝立てから苗の定植までの注意点について説明をし、研修生が実際に作業を行いました。

平岡さん、三藤さんは「アスパラガス栽培は大変だけど、やりがいがあり、とても楽しい。栽培技術を習得して、アスパラガスを栽培していきたい。」と意欲的です。研修修了後、平岡さんは雇用就農、三藤さんは独立就農する予定です。今後指導所は、2 名の研修生の就農に向けて栽培技術の習得及び経営計画作成支援を行っていきます。



先進農家から指導を受ける研修生



研修生の平岡利奈さん



研修生の三藤健史さん

情報提供元

東部農業技術指導所